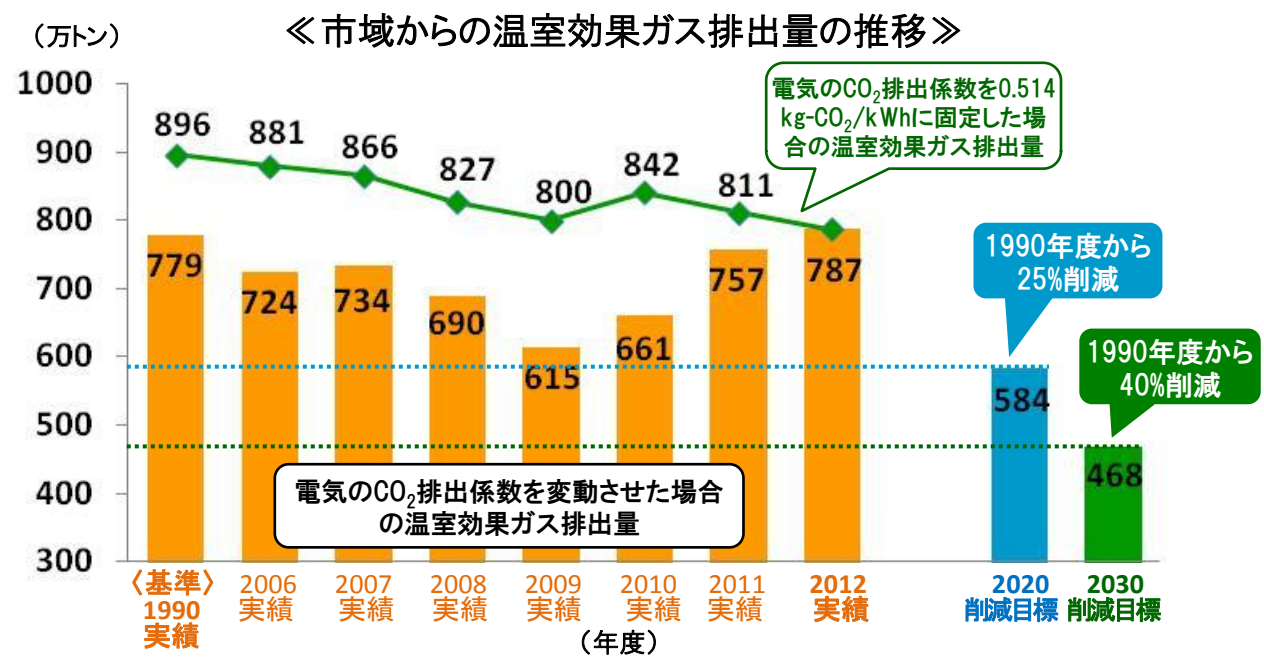


地球にやさしいまち・経済・ライフスタイルを目指して 京都市の地球温暖化対策



— 平成26年度版 —

2012年度は温室効果ガス排出量が増加しています。
省エネ・節電に着実に取り組み、2020年度の目標を目指しましょう！！

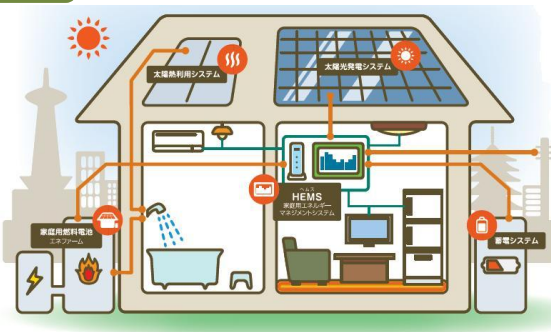


図中の折れ線グラフ(緑)は、温室効果ガス排出量に大きな影響を与える外部要因(発電時の化石燃料の利用増加)を排除し、省エネや節電等の成果を分かりやすく表した場合(電気のCO₂排出係数を固定)の市域からの温室効果ガス排出量の推移。

2013~2014年度に京都市が取り組んだ地球温暖化対策(一例)

すまいの省エネ・創エネに関する助成制度を充実

すまいの省エネを積極的に進めるため、平成26年4月から、すまいの省エネルギーフォームや、家庭用燃料電池システム(エネファーム)、及びHEMS(家庭用エネルギー管理システム)の設置助成制度も創設しました。また、これらについての相談・申請窓口を「京(みやこ)安心すまいセンター」に統合し、環境に優しい快適なすまいづくりを総合的に支援する体制を整備しました。



公共交通(市バス)の利便性向上

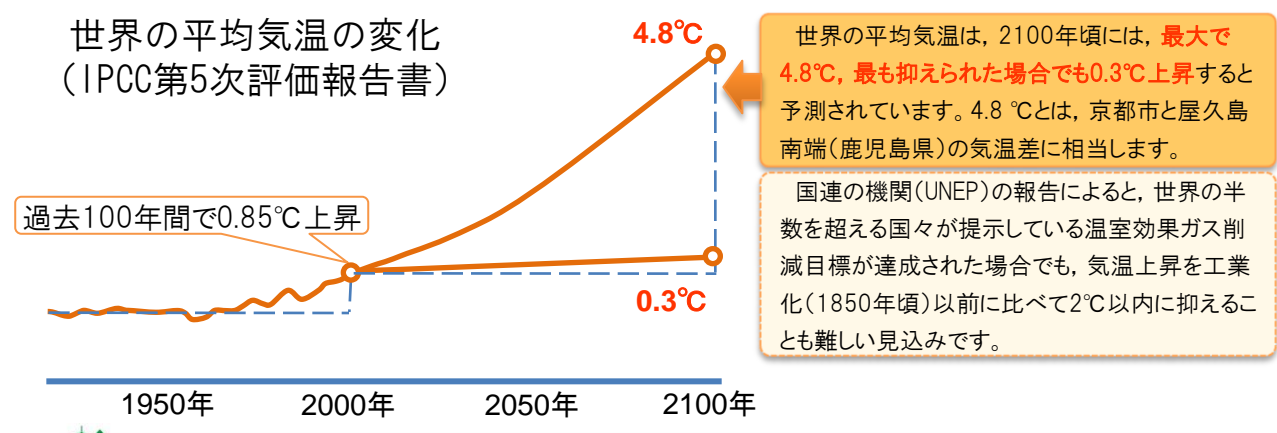
人と公共交通優先の「あるくまち・京都」の実現に向けて、市バスネットワークの利便性を飛躍的に高めるため、平成26年3月から一層のサービス拡充を図りました。

- 観光系統「洛バス」や循環系統や幹線系統の増便
- 京都駅やまちなかを直行で結ぶ、お客様ニーズに対応した新たな系統の設定
- 「深夜バス」など夜間時間帯の運行充実
- 京都駅バスターミナルの案内表示のリニューアル など



さらに詳しい情報は、**京都市の地球温暖化対策** [検索](#)

地球が温暖化しています



地球温暖化が一因と考えられる影響が出ています

平成25年は、猛暑日の日数が、平年の2倍となる30日を数え、夏場の熱中症患者数も増加しました。

年度	患者数
H21	186人
H22	800人
H23	700人
H24	650人
H25	858人

サクラ(ソメイヨシノ)の開花日は、ここ50年間に7.6日間早まり、カエデの紅葉日は約2週間遅くなるなど、文化・観光に影響しています。

平成25年9月に京都市にも甚大な被害をもたらした台風18号では「大雨特別警報」(数十年に一度の降水量)が初めて発令されました。

<集中豪雨によって増水した鴨川>

地球温暖化の原因は、温室効果ガスの増加です

大気を暖める働きをする温室効果ガスはもともと地球に存在します。しかし、現在は人為的な排出量が自然の吸収量を大きく超えています。国内の温室効果ガス排出量の9割以上が二酸化炭素です。二酸化炭素は、快適な生活や経済活動を支えるエネルギーである、石炭や石油などの化石燃料の利用時等に排出されます。

二酸化炭素発生の原因



温暖化を止めるには **どうしたらいいの?** **一緒に考えてみましょう!**



エネルギーを減らす

なぜ？ 電気を作るときや、ガス・灯油・ガソリンなどを使うときに、二酸化炭素が出ます。だから、エネルギーを無駄なく、賢く使う生活を目指そう！



京都市内で、こんな取組が進んでいるヨ！

- 市民生活における省エネ・節電の推進
- 地域ぐるみのエコ活動の促進
- 環境にやさしい住宅の普及促進
- 省エネ・環境教育の推進



街路灯のLED化



省エネ・環境学習

省エネルギー・節電の推進

歩く暮らしを大切にする

なぜ？ クルマの燃料となるガソリン・軽油などは燃焼時に、二酸化炭素が出ます。だから、歩くことを楽しみ、公共交通を利用する暮らしを大切にしよう！

京都市内で、こんな取組が進んでいるヨ！

- 既存公共交通の利便性向上
- 歩行者優先のまちづくり
- 歩いて楽しい暮らしを大切にするライフスタイルへの転換
- エコカーの普及促進



バスの駅「清水道」

公共交通を利用する暮らしへの転換



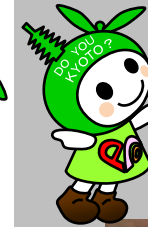
歩いて楽しいまちなかゾーン

自転車路面表示 自動車走行スペース 歩行空間の拡大

歩行者優先のまちづくり

ごみを減らす

なぜ？ 石油から作られるプラスチックは、ごみとして焼却されるときに二酸化炭素が出ます。また、生活用品の製造には、エネルギーが使われ、二酸化炭素排出が伴います。だから、ごみそのものを減らすことが大切です！



京都市内で、こんな取組が進んでいるヨ！

- そもそもごみを出さない取組
- ごみは可能な限りリサイクル
- ごみは安全に処理して最大限活用



雑がみのリサイクル



イベント用のリユース食器

エネルギーを生み出す

なぜ？ 電気を作るために石炭や石油などの化石燃料を燃やすときに、二酸化炭素が出ます。だから、太陽光など自然の力を賢く使ってエネルギーを作ろう！



京都市内で、こんな取組が進んでいるヨ！

- 市民生活や事業活動における再生可能エネルギー※利用設備の普及促進
- 地域で再生可能エネルギーを賢く使うためのしくみづくり

※利用後も比較的短時間で再生でき、資源が枯渇しないエネルギー



左から廃食用油、分解油、バイオ軽油

廃食用油から「バイオ軽油」の製造



市民協働発電所（ウッディー京北）

太陽光発電設備の導入促進

森を再生する

なぜ？ 健全な森林は、二酸化炭素を吸収する重要な働きをします。でも、市内には育成・保全の担い手不足などから不健全なところがあります。だから、みんなで、森を再生しよう！

京都市内で、こんな取組が進んでいるヨ！

- 京都市内産木材の活用促進
- 林業の振興
- 森林の適切な育成・保全
- 水と緑と風を生かしたまちづくり



松ヶ崎工科大学区における里山整備

里山の整備



ガードレール等への市内産木材の活用促進

環境保全と経済発展の両立

なぜ？ 京都が誇る、省エネなどに役立つ環境技術の研究開発・事業化等は、環境を保全しつつ経済を発展させます。事業活動の省エネや、温室効果ガス削減量の環境価値を経済的に評価し「見える化」することも大切です！

京都市内で、こんな取組が進んでいるヨ！

- 産学公連携による環境産業の育成・振興、環境技術の開発
- 環境・エネルギー関連産業の事業拡大支援
- 事業活動における省エネ・節電の推進
- 環境価値の「見える化」



構成団体の代表（市長、府知事、京都商工会議所会頭、（公社）京都工業会会長）による協議



東寺五重塔LEDライトアップのカーボン・オフセット

環境価値を活用した低炭素イベント